

2019年3月期

配当予想の修正(復配)説明資料



2019年3月22日
エンシュウ株式会社
(東証一部 6218)

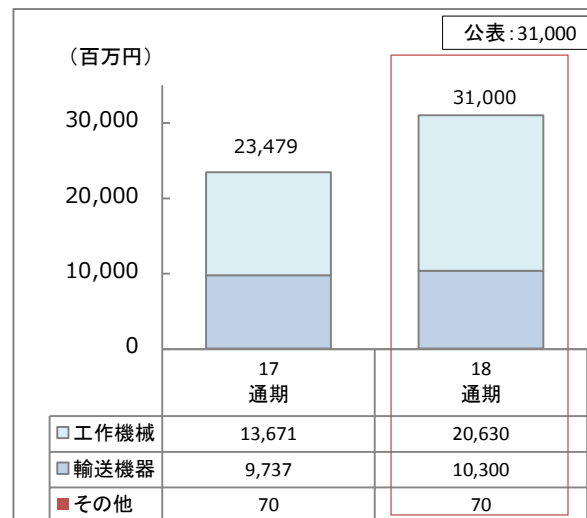
連結決算（経営成績）

公表＝業績予想(10/30)
(単位:百万円)

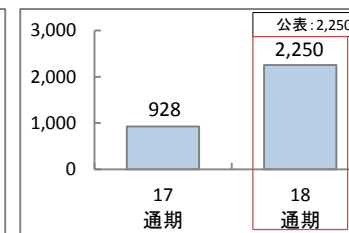


【前期比較】

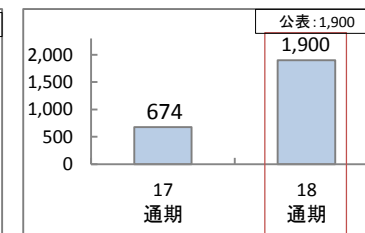
売上高



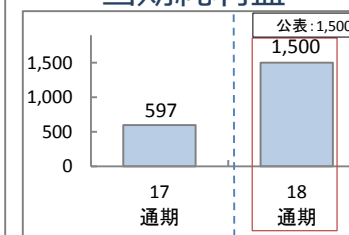
営業利益



経常利益



当期純利益



※18/通期は予測

●2018年度 増収増益

営業利益 約40年ぶりの高水準

国内外における堅調な受注を背景に、工作機械が大幅に伸び、全社売上高31,000百万円と大幅な増収見込み。

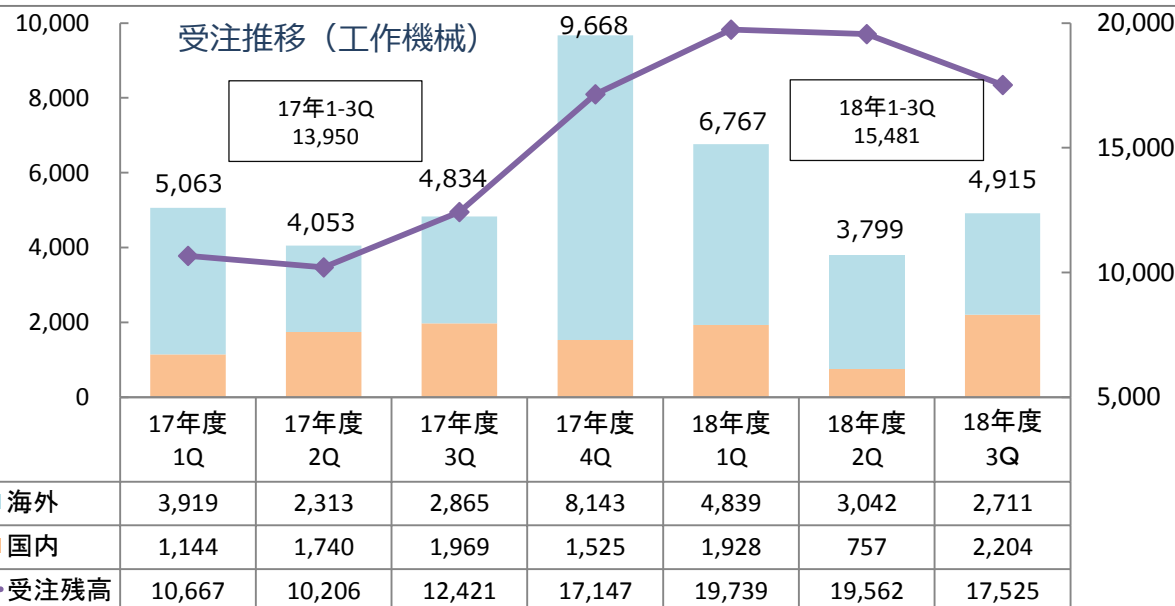
営業利益につきましても、増収に加え、原価低減を徹底した結果、大幅なコストダウンを実現し、営業利益2,250百万円と前期比大幅な増益となり、約40年ぶりの高水準見込み。

●受注動向（工作機械）

今期3Q累計期間(4-12月)受注高は150億円を超える高い水準。4Qも中国を中心とした海外受注が堅調に推移。

●今後の業績見通し

工作機械事業において中国を中心とした先行きが不透明な中、輸送機器事業における国内の売上確保についても不透明な部分があるものの、工作機械事業の豊富な受注残高に加え、新規事業も期待できるため、来期以降の業績も堅調に推移する見込み。



【過去配当実績】

期	配当	
	一株当たり[円]	総額[百万円]
2007年3月期	50.0	316
2008年3月期	25.0	158
2009年3月期 ～ 2018年3月期	—	—
2019年3月期(予想)	10.0	63

※当社は2018年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。

これに伴い、2007年・2008年3月期の1株当たり配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載しております。

注記事項

本説明資料に記載いたしました業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動等が含まれます。